

平成 30 年度第 1 回大阪府依存症関連機関連携会議  
ギャンブル等依存症地域支援体制推進部会・議事概要

- ◇ 日 時：平成 30 年 10 月 26 日（金）午前 10 時から 12 時まで
- ◇ 場 所：大阪府こころの健康総合センター 4 階 研修室
- ◇ 出席者：14 名（代理 1 名・参考人 2 名）

## 1 開会

- 会議の公開・議事録の取扱いについて

会議の実効性を高めるために本会議は非公開とするが、議事については要旨を公開する。

- 委員紹介

## 2 議事

- (1) 大阪府依存症関連機関連携会議及び各部会について【資料 1】

### 事務局説明

- ・大阪依存症関連機関連携会議とギャンブル等依存症地域支援体制推進部会の説明

- (2) ギャンブル等依存症の本人及びその家族への支援のポイント集について【資料 2】

### 事務局説明

- ・ギャンブル等依存症の本人及びその家族への支援のポイント集の案の説明

- (3) ギャンブル等依存症の本人及びその家族の現状について【資料 3】

### 委員意見

- 現状

- ・借金の問題を相談に来るが、「めんどくさいことはしないで、督促だけとめてほしい」と来る。病に関する理解ができていない。
- ・借金問題から、「これは依存症かもしれない」と思って家族が相談に来る。他の依存症より、病気と気づくまでの期間が長い。
- ・相談に来る人は、本人半分、家族半分。薬物などに比べて、ギャンブルは本人の登場が多い。借金の問題を抱えていることがほとんどで、数百万円、数千万円以上という人もいる。借金が相談の動機になっている。
- ・家族が最初に相談するのは金銭問題。でも中には、仕事を続けているため、金銭問題で苦しんでいない人もいる。
- ・相談者は働いている人が多いので、面接の調整が難しい。借金については、知識がないのと、額が大きいことから家族がおびえている。ギャンブル等依存症を診てくれる医療機関も少ない。
- ・本人は仕事を失っていない。働きながら、ギャンブルをしている。多重債務の返済期限が迫っていて、どうしたらいいかと相談に来る。
- ・「恥」という感覚から、本人・家族からつながってくるケースは少ない。友人や知人が見るに見かねてという相談が多い印象がある。
- ・債務整理はすでに行っているケースも案外多い。
- ・パチンコは大学生に身近で、学費の未納や大学の中退につながる。ネットで簡単にできるギャンブルの相談もある。
- ・銀行カードローンが目立ってきていて、本人の返済能力を超えるようなローンが目立ってきている。その中に、

ギャンブラーがいるのではという印象がある。

- ・本人が相談に来たら、スクリーニングテスト（SOGS）をやっている。全て 10 点以上。5 点でも問題が出てきているはずだが、10 点を超えてから相談に来ている。5 から 10 点の間の人が見聞にはたくさんいるという印象。
- ・家族、特に妻がしっかりしていて、保険に入っていたり、資産があるギャンブラーもいる。
- ・やっと相談窓口につながっても、的確なアドバイスがもらえずに、悩んでいる人も多い。個人の状況に合わせたアドバイスが必要。
- ・昔はパチンコ・パチスロが主流だったが、最近はスマホ。みんな隠れてギャンブルをしている。自分の部屋に入ったら家族はわからないし、どう対応していいかわからない。
- ・ギャンブル等依存症の本人は孤立しており、ギャンブルをやめたら何をしたらいいかわからない、という深刻な人が多い。
- ・ギャンブラーは、意地を張り、格好つけて嘘をつく。自分ではおかしいと思っているが、頭ごなしにやられたら否認する。
- ・身体的な問題が生じにくいので、医療に結び付きにくい。
- ・昔は競艇、競輪、パチンコなどであったが、ゲームをしている比較的若い人もいて、介入のタイミングを見計らって、借金への対応方法を提案しても、本人が目前でゲームをしたり、つなげる支援先が少ないと感じる。
- ・借金問題を繰り返すことで、本人と家族の間がぎくしゃくするケースもある。家族に借金があることを言っただけで、競馬などはネットでできるので気が付かれないまま、借金が増えている印象がある。
- ・家族は疲弊しており、家族の恨みは根深い。ご家族自身が本人の回復に協力的か否か、本人が家族に積極的に助けを求めるとも否かも支援の方向性に関係してくる。
- ・家族は悩んで、どこにも相談できないでいる。どこに相談したらいいかわからない。お金をなんとかしたいと思っている。なんとなく弁護士さんに相談したらいいかと思うが、出向いていくのは家族にとって辛い作業になる。
- ・家族から、どこかに収容できないかという相談も多い。
- ・「息子がギャンブルにはまったのは嫁が悪い」と虐げられている妻からの相談がある。
- ・ある事例では、家族が尻拭いし、本人もパチンコをやめたので家族は喜んでた。しかし、スマホで銀行から 300 万～1,000 万借りて、隠れてネットで競馬をして、また借金が膨らんでいた。

#### （４）ギャンブル等依存症の本人及びその家族への関わり方と支援のポイントについて

##### 委員意見

##### ○支援のポイント（本人・家族共通）

- ・相談に来たことをねぎらって受容、共感、支持的な態度で接するように気をつけている。アセスメントでは、特に借金問題について確認し、司法関係につなぐようにしている。
- ・支援は個別性が大切。型にはめた支援は考えないように心がけている。
- ・ギャンブルや借金の問題に目が行きがちだが、ギャンブルに依存する原因そのものに着目していかないと、解決していかない。
- ・法律が介入すると債権者からの請求が止まる。家計に余裕が出てくるが、そのお金をギャンブルのあてにされないように、法律家も介入の仕方を考えていかないといけない。
- ・ギャンブルする人はダメだという感情をもたないように、生きづらさを抱える方ととらえて支援している。
- ・ギャンブル依存症という話をするのができても、身体は動くので、借金を返すために仕事をみつけると、本人も家族もそこがゴールと思ってしまっただけで、治療が途絶えてしまう。借金をする動機の部分が解決していないことを共有しておかないと、また繰り返すというケースがある。仕事ができただけを判断にすると危険。
- ・借金問題を解決することも大切だが、お金を解決することで問題が終わったかようになってしまうので、病

気であることを伝えることが大切だと思っている。

- ・1回依存症になった脳は元に戻らないが、それなりの付き合い方、生き方に変えていくことができるといった情報をみんなが共有できたら良い。
- ・来られたことに対してねぎらい、依存症という特別な目でみるのではなく、その人としてみる。ほかの疾患と同じようにとらえる。依存症の病気の説明、回復可能であることを伝える。本人への対応、寄り添って支援する、イネイブリングを否定しない。家族がしんどくならないように関わる。

#### ○支援のポイント（本人に関すること）

- ・本人支援では、生活支援の視点を持てるようにする。
- ・本人は回復につながらないという問題もあるが、回復につながったとしても、気持ちを維持するのが難しい。
- ・本人の支援では、どういう時に一步踏み出したかを一緒に丁寧に確認する作業がある。仕事をすると、日中相談に来れなくなり、継続が難しい。
- ・自助グループにつながるのも、自分は違うと思っている人も多いため、丁寧に橋渡ししないと、継続が難しい。支援者が回復のイメージ持っておき、本人と一緒に確認していく作業が大切と考える。
- ・本人の相談は、ギャンブルの相談というよりは、金がないという内容で、債務整理の相談が多い。仕事をされている方は自助グループを案内したり、仕事をされていない方は回復施設のプログラムや、依存症別のミーティングを案内している。
- ・本人との関わりで困っているのは、内に秘めている怒りの感情への対応。本人は笑顔で答えていても、腹の中は煮えくり返っている状況。その怒りの感情を他の人に出すので、他の人から相談がくる。徐々に、生活の中で怒りを出すような接し方をしている。
- ・平日の昼間に行政機関に来るという大きなハードルを越えてくるので、まずはねぎらう。否認を誘発するため、いきなり「やめろ」と言わないようにしている。継続的な支援を優先に考えている。
- ・普通の精神科の診療と同じように、というところを大事にしている。いろいろ問題が起きるが、結局、生きづらさ、孤立などの反応であり、問題の噴出の仕方が違うだけ。借金の問題だけに焦点をあてるのではなく、「しんどい」と本人に言ってもらえるように、続けて来てもらえるようにしている。関係性ができてきたときに、話してもらい整理していく。その時に家族や本人のグループを案内していくようにしている。
- ・医療機関に行くように伝えたり、破産の手続きなどはできるが、一人ぼっちの時間をどう支援していくかが難しく、自助グループ等を紹介はしている。
- ・頭ごなしにギャンブルを止めるよう言っても効果はない。とにかく90日、自助グループに通うこと。しかし、回復の場に登場するまでには時間がかかる。根強く、継続していくことが必要。
- ・ひとことにギャンブルと言ってもいろいろある。彼らがどんな打ち方をしてるかで違い、個別性がある。借金問題だけではなく、貧困問題にも関わってくる。
- ・本人に関わるポイントとしては、いやいや来たとしても、「よくきたね」「がんばったね」が言えるかどうか。ギャンブルをすることの後悔や罪悪感、死にたい・消えたいという気持ち、嘘をつき続けることのしんどさ、隠し続けることの大変さに寄り添っていく。結果として、ほぐれて支援者との関係性ができてくる。継続相談につながっていくし、中断したケースでも再度登場したり、早くに軌道修正もできる。本人のがんばりを見て、ギャンブルしたか否かにこだわり過ぎず関わっている。なぜギャンブルが必要だったのか、背景の問題や重複問題の方への関わりも必要。
- ・債務の問題は、本人が切羽詰まっている。具体的にどのようにして返していくかなど、一緒に相談していく。どこから優先して返していくかなど。できたところを一緒にチェックしていき、評価していく。
- ・タイミングよく介入するために、本人に話をするタイミングをみる必要がある。
- ・借金で本人を責めない方が良い。孤独になると何かに依存したくなるので、そういう状況を防いでいくようにしている。
- ・借金をする人は、「借りた人が悪い」「あんな人間にならないように」「だらしがない」と言われてきた。しかし、こ

れは社会的な構造が出した被害と位置付けて対応している。

#### ○支援のポイント（家族に関すること）

- ・正しい知識を習得してもらうために、依存症についての説明や、治療、関係機関の情報提供を行っている。孤立を防ぎ、回復者を知るために、自助グループを紹介する。同行する場合もある。
- ・「家族が元気になることが回復につながる」ということや、「家族は家族の時間をもつ」といった話をする。本人への対処法を学ぶための家族教室に参加してもらうようにしている。
- ・タイミングよく介入するために、本人に話をするタイミングや、支援をするのは時間がかかること、回復できることを家族に伝える。定期的に電話をしたり、年1回で終わることなく、信頼関係をつくることや、必要な機関につなげるように努力している。
- ・家族への関わり方では、尻拭いをしないのが原則だが、死ぬと言ったり、脅されたりするのに家族がどう対処するか、正しい対処の仕方を身に付けることが大切。
- ・家計の管理が大切になってくるが、これがいいという方法はなく、ケースバイケース。先立つ人たち、先立つ家族の知恵をもらい、適切な家計管理の方法を考えていくようにしている。
- ・本人の回復のモチベーションを維持するには、家族と本人とのコミュニケーションが大切と考えている。よく家族から、育て方が悪かったんです、という話を聞かすが、過去を振り返って回復に結び付くかという、そうではない。過去にこだわらず、未来は変えられるという支援をこころがけている。
- ・家族は疲弊しているので、家族もしんどさを抱えた当事者として、相談に応じることを相談機関が知っておくことが大事。
- ・本人と家族との関係がぎくしゃくしているので、CRAFT などコミュニケーションの技法を身につけてもらうことが大事。
- ・家族の関わりでは、借金について怯えている方も多いので、正しい知識を伝える。イネイプリングをしている家族に、いきなりダメというのではなく、知識を伝えるために家族教室を案内している。家族と同じ目線に立って本人に言うタイミングを一緒に考えるというスタンスで関わるのが大切。
- ・回復は必ずくるので、そのときのために家族には学んでほしい。頭ごなしに否定したり批判されると逃げるので。あとは、焦らないでほしい。
- ・家族は本人とは違うしんどさがあり、それを労っている。家族が元気になることが、間接的にも本人にも伝わっていき、家の空気も変わっていく。待つことの大事さを伝えている。
- ・家族が金銭管理をしていることが多いが、本人が納得していなくて、本人からすると搾取されている感覚。あくまでも本人が働いたお金であることを踏まえながら、借金を透明化していく作業をしている。お金が足りなくて、家族にほしいと言えなくて、ギャンブルや借金を増やしていくケースが多く、かえって内緒のお金が増えていくことを説明し、一緒に分かち合えるやり方を考えるようにしている。
- ・家族には自助グループを勧めてほしい。行ってみて自分に合わなかったら、違うグループに行ったら良い。恥ずかしい気持ちは、自助グループで言える。そこで先に行く人たちの話を聞けるのが、自助グループの良いところ。
- ・家族に自助グループを勧めているが、自助グループがどんなところか分からず、行ってもらえないことも多い。自助グループでなくとも家族の集まりがあれば、つなげてもらえるとうれしい。依存症は病気だけど、医療だけでは治せない。病院の中でのミーティングや家族の会も有効だが、社会全体のつながりも大事。自分たちだけでは解決できないから、外のグループにもつなげてもらいたい。

#### （5）その他

##### 事務局説明

- ・本日の意見等を元に、ポイント集の案を事務局が作成。
- ・次回の会議で案について検討する。